

＜長崎市第五次総合計画
後期基本計画＞
【個別施策】
G1-1
「確かな学力の向上」
を図ります。

学校教育目標「光り、輝く、チーム南陽小」
合言葉：「太陽のように光り、輝け！仲間と共に笑顔いっぱい！」
＜めざす児童像＞○思いやりと優しさをもち、互いに認め合う子ども（徳）
○自分の個性や才能に自信をもち、自ら学び、考える子ども（知）
○健康でたくましい体と心をもった元気な子ども（体）
＜研究主題＞ 主体的に学びに向かう子どもの育成
(副主題) 全ての子どもが「つかんだ」「見つけた」と実感できる授業づくりを目指して

家庭・
地域の思い
令和の日本型
教育の構築

【「UDの授業づくり」や「学習規律の徹底」により安心して学べる授業】

- ・ 特支教育の視点を重視…インクルーシブ教育の推進。全ての子どもを、同じ学びのステージへ導くための指導・支援観。
- ・ 教室環境のUD化…必要最小限な前面揭示。暗黙のルールなど、見えないものを可視化する。
- ・ 人的環境のUD化…特別支援教育に関する研修。教師の好意に満ちた語り掛け。
- ・ 正しい姿勢の保持の徹底…全校での取組「グー・ペタ・ピン賞」

【「めあて」と「まとめ」が子どもに届く授業】

- ・ 「まとめ」→「めあて」の順で授業を構想する。
- ・ 「大きな目的（単元のめあて）」と「小さな目的（本時のめあて）」を意識した単元構成を行う。
- ・ 子供の思いや願いを引き出し、「めあて」を設定する。
- ・ 「広げるわいわいタイム」…いろいろな考えを知る。伝える。（情報交流）
- ・ 「深めるわいわいタイム」…正しい答えや根拠を導き出す。（情報共有）
- ・ 子供の言葉を生かして、一緒に「まとめ」る。

【家庭学習（自主学習）の充実】

- ・ 「家庭学習の手引き」の作成・配付。
- ・ 発達段階に応じた家庭学習時間の設定や、取組例の提示。
- ・ クロームブックの有効的な活用。（キュビナ等）
- ・ 児童の取組に対する教師や仲間からの称賛の場を意図的に設定。
- ・ 保護者の意識の啓発と習慣化に向けた粘り強い取組。

＜学力調査から観た「南陽っ子」の特徴＞

（国語科）第6学年は県や全国の平均を上回っているが、その他の学年は、平均を下回っており、特に、読解力に課題がある。

（算数科）第6学年は、県や全国の平均を上回っているが、その他の学年は、平均を下回っており、特に、思考力・判断力・表現力が問われる問題の正答率が低い傾向にある。